

## 今年度もよろしくお祈いします

副校長の大塚です。本校での勤務は2年目になります。今年度もよろしくお祈いします。

昨年度4月の着任時に感じた本校の印象は、「校舎は老朽化していても、広い校庭があり、複数の遊具があって、子ども達が伸び伸びと学ぶことができる良い環境にある」というものでした。着任後 1 年余りが経過し、今は上記の印象に加えて、55 年以上の歴史がある本校と地域とのつながりについての強みを実感しています。

本校はこれまで「中屋敷ケアプラザでの清掃活動」、「学福農商ガパオ祭りへの参画」、「交流フェスティバル」、「施設開放」等を通して、子ども達の学びの充実と地域貢献を進めてまいりました。引き続きこうした取組を行うとともに、今後はより積極的に地域の方々のお力を借りし、教育の質の向上を図りたいと考えています。具体的には4月に本紙にて校長からお知らせしたとおり、今年度より地域学校協働活動推進員を1名配置し、地域学校協働活動を推進してまいります。推進員に地域と学校とをつなぐ架け橋になっていただくことで、子ども達の学びや成長のために、地域資源を活用した教育活動を展開していく予定です。

教育課程については、授業時数を見直し、昨年度から新たな教育課程で授業を行っています。確保した時間を授業準備や打ち合わせ等に利用できることが授業内容の充実につながっていると実感しています。また、大和東分教室・大和南分教室では一昨年度から、本校では昨年度から、各教室に電子黒板を導入しました。1人1台端末とともに活用を積極的に進めることで、子ども達の学びの充実につなげていきたいと考えています。

上記の取組を通して、「たけのこ せやのこ」のように、子ども達がしなやかに、伸び伸びと育っていけるよう、支援していきます。引き続き学校の諸活動に対するご理解とご支援を、どうぞよろしくお祈いいたします。

副校長 大塚 崇志

### 生きた教材としての学校給食 給食室より



今年度もお世話になります。栄養士の間橋(まばし)です。保護者の皆さまや地域の方々、先生方のご理解・ご協力、そして「おいしい!」と給食を食べてくれる子どもたちのおかげで日々充実した給食提供ができています。いつもありがとうございます。

給食は「生きた教材」といわれ、栄養のバランス、食文化、行事食、旬の食材、地場産物など、1日の献立からたくさんの情報をお伝えすることができます。今年度も給食の献立表を瀬谷支援学校のホームページに掲載します。保護者の方だけでなく、地域の方や放課後支援の方々にも給食の情報をお伝えし、ご活用いただけたらと思っております。

昨年度は中学部の家庭科の授業で、給食を作っている様子を動画で子どもたちに見てもらいました。「量がいっぱい!」「お鍋が大きいね!」等、とても興味津々でした。今年度も、子どもたちがさらに「食」について興味を持てるように食育を行っていきたくと考えています。どうぞよろしくお祈いいたします。

#### <保護者のみなさまへ>

給食の欠食届の締め切りは、欠食日の3週前の金曜日の朝までです。  
ご理解とご協力のほど、よろしくお祈いいたします。

